

**広島県プロゴルフ協会会長
田中光治氏の言葉**

当初、「ジュニアスクール」協力のお話を頂いた時には、高ゴ連に加入しているジュニアも少なく、先生方も大変心配されておられました。それから、県内の5団体(県ゴルフ協会、ゴルフクラブ連盟支配人会、練習場協会、高ゴ連、本会)が協力し、他県にはない素晴らしい組織を作ることが出来ました。当時の目標である底辺拡大を成し遂げつつ、子供たちの早い段階からのジュニア育成も実現し、多くの名選手誕生に繋がる手助けが出来たと思っております。これからも県内各団体がさらなる協力と尽力を以って、国体の「常勝・広島」に少しでも貢献できればと考えております。

その中の一つとして、同研修会は、広島県下のトップクラスのジュニアとプロと一緒にラウンドする事は、私が長年想ってきた事で、今回実現して大変嬉しく思っています。ジュニア達には、夢や志を高く持って、国体を足掛かりに6年後の東京オリンピック出場も含め、世界で戦える選手に育てて欲しいと思っています。「世界で羽ばたいてくれる」ことを胸に楽しみに応援を続けて行きたい。

**広島県ゴルフ協会・小川隆文事務局長の
大会終了のお礼の言葉**

「広島県プロゴルフ協会・選手会の提案から生れた同研修会であるが、今研修会は、トップクラスを目指すジュニアの選手たちにエチケット・マナーはもちろんのこと技術的な面、攻略性などのラウンドスキルを学ぶことを目的とし、広島県プロゴルフ協会の選手会の協力のもと、若手プロの選手の方々にご指導を賜り、大変有意義な研修会となりました。

開催につきましては、呉カントリークラブの皆様、広島県プロゴルフ協会の皆様、実行委員の皆様、関係各位の皆様のご協力と深いご理解の賜物と心より感謝しております。

今後継続してジュニアゴルファーの育成事業実施にあたり、関係各位におかれましては一層のご協力とご支援賜りますようお願い申し上げます。」



第1回 広島県ジュニア育成研修会

2月22日(土) 呉カントリークラブ



ジュニアがプロにラウンド!!



左から小西瑞穂さん、田辺ひかりさん、岡田唯花さん

成績表(高校・中学女子)

| 順位 | 氏名 | 学校(学年) | トータル | アウト | イン |
|----|-------|--------|------|-----|----|
| 1 | 田辺ひかり | 国際学院高① | 73 | 35 | 38 |
| 2 | 小西 瑞穂 | 長江中③ | 73 | 34 | 39 |
| 3 | 岡田 唯花 | 瀬戸内高① | 74 | 37 | 37 |
| 4 | 神田ひなた | 府中中① | 79 | 41 | 38 |
| 5 | 金子すみれ | 国際学院高② | 79 | 41 | 38 |

成績表(小学生の部)

| 順位 | 氏名 | 学校(学年) | トータル | アウト | イン |
|----|-------|--------|------|-----|----|
| 1 | 水野 大夢 | 郷原小⑥ | 88 | 46 | 42 |
| 2 | 沼田 一徹 | 三篠小⑤ | 100 | 49 | 51 |



左から関藤侑嗣くん、関藤直照くん、金岡奎吾くん

成績表(高校・中学男子)

| 順位 | 氏名 | 学校(学年) | トータル | アウト | イン |
|----|-------|--------|------|-----|----|
| 1 | 関藤 直照 | 国際学院高① | 66 | 32 | 34 |
| 2 | 関藤 侑嗣 | 駅家中② | 71 | 36 | 35 |
| 3 | 金岡 奎吾 | 高陽中② | 72 | 37 | 35 |
| 4 | 中村 友貴 | 国際学院高② | 72 | 36 | 36 |
| 5 | 谷本 蓮 | 広陵高② | 78 | 37 | 41 |



参加したプロ



1999年、熊本国体より少年少女の参加が始まり、国体の候補選手の育成と強化を始め、少子化問題、若者のゴルフ離れ、ゴルフの世代交代などゴルフ業界全体が危機感を持つに至り、活性化の事業の環として、底辺拡大、及びジュニアの育成のため「広島県ジュニアゴルフスクール」は、開校したと聞いています。

2000年6月に広島県ゴルフ練習場協会加盟18会場で「第1回広島県ジュニアゴルフ体験スクール」が開催されました。上野恵美チーフプロより「子供たちにゴルフ場の素晴らしさを見せてあげたい」との一言から体験スクール実施後、ゴルフ場での「体験ラウンド」が始まりました。

開校に伴い、県単位の指導者の必要性から、それまでの中国四国ゴルフ研修会では中国四国の中国5県、四国4県を網羅する事が難しく、広島県ゴルフ協会、広島県ゴルフクラブ連盟、並びに中国四国ゴルフ研修会の要請により、2001年に「広島県プロゴルフ協会」が設立されました。

広島県プロゴルフ協会の設立により、広島県ゴルフ協会の「ジュニアゴルフスクール」の顧問、及び相談役に事業内容やコース体験指導に全面的に協力するに至りました。その後、ゴルフの底辺拡大、掘り起しから始まった「ジュニア体験スクール」でありましたが、ゴルフは小、中学校でクラブ活動がなく、体験スクール卒業後、高校までの空白期間を埋めるために「本スクール」(ステップアップスクール)の必要性を説き、ゴルフの素晴らしさ、面白さを子供たちに伝えるため身近な目標としてAクラス、Eクラスまでの5段階のランクを与え、そのランクごとに出場できる模擬競技として、合同練習会、記録会、競技会等を提案しました。

また、各模擬競技の実施を通してエチケット・マナー、ルール、及び技術を段階的に指導し、「楽しさから厳しさを」をモットーに向上心や自我意識の芽生え、継続性などの情操教育も促し、体験スクールから競技会までの貫いたカリキュラムも提案してきました。同時にそれまでのジュニアはセルフでキャディバッグを担ぐス

タイトルでありましたが「乗用カートを導入」し、また、ゴルフ場のスタート終了後の時間を「ジュニアたちに開放して頂く」、模擬競技においては「保護者の立ち入り範囲を拡大し」、「ボランティアの協力」などに携わって頂くなど、ゴルフを始める年齢をぐっと下げ、年少から子供たちにゴルフを続けやすく、親しみやすく、練習しやすい環境作りを各方面の方々と協力して培って来ました。

そのような大きな流れの中で、今回、本会の選手会からトップクラスや次にそこを目指すジュニア達のステップアップを図ってあげたいとの申し出があり、企画されたのが、「広島県ジュニア育成研修会」であります。この多くの方々に支えられたジュニアスクールの中から平本穂プロ、森川将樹プロ、松本哲也プロ、廣瀬加奈プロが誕生し、若手プロも模擬競技を手伝ううちに自然と生まれてきた感謝と応援の気持ち表わされたものです。

その育成研修会が平成26年2月22日(土)に呉カントリークラブにて開催され、プロ22名が講師60名が出場し、ジュニア1組にプロ1名が入って一緒にラウンドをしました。

当日はジュニア全体のレベルアップを図る研修会であり、進行に差し支えない範囲でルール、マナー、技術面を指導し、ジュニア達はプロのショットに眼を輝かせ、的確なアドバイスにうなずき、真剣に耳を傾けていました。初めての試みでありましたが大成功でありました。